

2024年12月 6日
京成電鉄株式会社

さらなる輸送の安全確保のために
「異常時総合訓練」を実施しました
首都圏を震源とする地震発生による脱線事故を想定

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、2024年12月6日(金)に宗吾車両基地(千葉県印旛郡酒々井町)において「異常時総合訓練」を実施しました。

この訓練は、12月10日(火)から始まる「年末年始輸送安全総点検」の一環として、社員一人ひとりの安全意識の高揚を図るとともに、多くのお客様がご利用になる年末年始に合わせて、重大事故発生時における対応力・技術力の向上を目的として、毎年この時期に実施しています。

詳細は、以下の通りです。

1. 日 時 2024年12月6日(金) 9時～12時30分
2. 場 所 京成電鉄 宗吾車両基地
【所在地】千葉県印旛郡酒々井町下岩橋
3. 参加者 京成電鉄、京成建設、佐倉警察署、酒々井消防署、千葉商科大学
国際医療福祉大学 合計209名

4. 訓練概要

【想定】

首都圏を震源とする地震が発生し、当社地震計では最大震度6を観測。この影響により、宗吾参道～公津の杜駅間走行中の列車が隧道内で脱線し、電車線を損傷、その衝撃で列車内のお客様に複数の負傷者が発生した。また、ユーカリが丘～京成臼井駅間においても路盤流出、枕木損傷及び倒木による信号機倒壊が発生した。

【内容】

- (1)災害現場(脱線・路盤流出等)における復旧作業
- (2)災害対策本部・現地対策本部の設置や関係各所との連携
- (3)ドローンを使用した災害現場の状況確認
- (4)点検箇所から運輸指令室及び対策本部へのリアルタイムでの情報伝達
- (5)乗務員による列車防護、車椅子をご利用の方や海外の方を含むお客様の避難誘導
- (6)警察・消防との連携(脱線現場での現場整理、負傷者救護)

5. 訓練の様子



電車線復旧作業



乗務員による列車防護



当社社員と救急隊による負傷者救護



ドローンでの被害状況確認



軌道復旧作業



脱線復旧作業

以上